

# 高砂市民病院改革プランの見直し項目

平成24年12月見直し

高砂市民病院

# 1 改革プランの修正にあたって

## (主たる変更事項)

平成22年度に経常収支黒字を達成し、23年度の改革プラン見直しにおいては黒字達成の22年度を標準に据え経常収支均衡に向け取り組んできた。平成23年度の決算は、経常収支▲68百万円と、ほぼ収支均衡した状況となり、現経営形態である地方公営企業法全部適用で経営を続けて行く方針を決定したところである。

地方病院では深刻な医師不足が続く中、地域密着型の病院を目指し、広く患者を受け入れていく方向性を定め、透析病床の拡充、緩和ケア病棟を開設することを決め、平成25年7月の運用開始に向け準備を進めているところである。

今回の見直しに当たって、透析、緩和ケア病棟の開設という大きな収益構造の変化が見込まれ、また、主要科において医師異動による減収が予測されることから、現在の収支にこれら増減収を見込み、改革プラン最終年度である平成27年度までに収支均衡させるべく収支目標を作成したものである。

## 対24年度経常収支効果額（主な変動要因に対する影響額）

(単位：百万円)

経費削減	H24	H25	H26	H27	備考
透析・緩和ケア病棟効果額	0	-294	-396	-462	
医師人件費		(+1人) -19	(+1人) -19	(+1人) -19	
当該病棟看護師人件費		(+28人) -224	(+33人) -264	(+35人) -280	
薬品、材料費		-20	-67	-109	
経費(リース、光熱水費、備品)		-28	-20	-28	
その他(減価償却、支払利息)		-3	-26	-26	
病棟再編による人件費	0	216	216	216	
1病棟休止、透析・緩和へ配転		(27人) 216	(27人) 216	(27人) 216	2開設(透・緩) 1休止
主要科医師異動による効果額	0	53	53	53	
医師人件費		19	19	19	
薬品、材料費		34	34	34	
その他 (支払利息-、高額機器減価償却+等)	0	21	29	18	
小計	0	-4	-98	-175	
収入増加	H24	H25	H26	H27	備考
透析・緩和ケア病棟効果額	0	86	366	566	
入院収益増(緩和ケア)		44	219	320	
外来収益増(透析病棟)		30	127	222	
一般会計繰入(高度医療機器)		12	20	24	
主要科医師異動による収益変動	0	-136	-136	-136	
小計	0	-50	230	430	
合計	0	-54	132	255	
経常収支見込	-157	-211	-25	98	

## 2 病院の現状について

### 2-1 平成24年度上半期の経営状況について

#### ① 医業収益

上半期（4月～9月）における収益状況は、昨年同期と比較すると医業収益が69,311千円の減となっています。これは整形外科、脳神経外科の入院患者数の減少に伴う入院収益の減が主な原因となっております。外来収益は前年度同期比で1,549千円の増となっております。

#### ② 医業費用

医業費用については16,485千円の増となっております。これは材料費が大幅に削減できている一方で、職員数の増加による給与費の増及び医療情報システム更新に伴う賃借料の増が主な原因となっております。

### 2-2 平成24年度の取組みについて

#### ① 診療報酬加算取得（新規届出13件のうち主たる加算）

感染防止対策地域連携加算  
糖尿病透析予防指導管理料  
患者サポート体制充実加算  
病棟薬剤業務実施加算

#### ② 経営形態について現形態である地方公営企業全部適用で継続してゆくことの方針決定

#### ③ 予防医療の充実

特定健診、がん検診に参加することを決定  
人間ドック強化のためマニュアルを整備  
糖尿病透析予防外来開設  
生活習慣病予防のための栄養指導充実  
頸動脈エコーの検査枠拡充  
労災保険2次健康診断受入拡充

#### ④ 透析・緩和ケア病棟開設決定

透析病棟開設に向けた現透析病床の拡充  
緩和ケア病棟開設に向けたターミナル患者の受入れ

#### ⑤ 医師確保

内科、眼科、耳鼻咽喉科各1名増員

#### ⑥ ペインクリニック開設

#### ⑦ 術前術後のリハビリ充実（呼吸器リハ・嚥下リハ）

#### ⑧ 企業への出前講座実施

### 2-3 平成24年度収支予測及び改革プランの進捗状況について

今年度上期の実績は、外来収益が前年比較で伸びているものの、入院患者が対前年10人/日程度減少しており、10人分の減収額は1億5千万円近くに及んでいる。10月に入り回復のきざしがみえるものの、平成24年度経常収支予測は、157百万円の赤字となる見込みです。

## 3 収支均衡に向けた今後の方針

### 3-1 数値目標（透析・緩和病棟等収益構造の大幅な変革のため新規に設定）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考 H23
経常収支比率	97%	96%	99%	101%	98.8%
職員給与比率	56%	58%	55%	53%	53.9%
病床稼働率 (運用病床数)	71% (255)	75% (223)	80% (223)	80% (223)	68.2% (290)
医業収支比率	92%	90%	92%	93%	96.1%
1日平均入院患者数(人)	181	168	178	178	191.5
1日平均外来患者数(人)	750	750	750	750	703
患者紹介率	41%	40%	40%	40%	41.9%
透析患者数(年度末)(人)	104	124	148	172	90
緩和ケア1日平均入院患者数(人)	0	6	16	16	0

### 3-2 経営効率化への取組みについて

#### 1) 収益確保対策

- ①透析・緩和病棟円滑運用に向けたマニュアル及び人員体制整備
- ②病棟再編  
人材を有効活用及び透析、緩和の収益確保のため、入院を5病棟体制に再編する
- ③医師確保、看護師確保対策  
女性医師及び看護師確保のため、院内保育の平成26年度開設に向けた準備
- ④予防医療の充実  
がん検診、特定健診の実施  
生活習慣病予防の推進
- ⑤新規施設基準の取得
- ⑥近隣企業へのPR

#### 2) 経費削減、抑制対策

- ①薬品費、委託料の更なる削減を図るため、近隣病院と情報共有、比較検討を行う
- ②経営状況に応じた人員の適正配置

## 4 収支計画

団体名 (病院名)	高砂市 (高砂市民病院)
--------------	-----------------

平成24年12月現在

1. 収支計画（収益的収支）

(単位:百万円、%)

年度		23年度 (実績)	24年度	25年度	26年度	特例債償還 終了年度 (27年度)
区分	1. 医業収益 a	5,225	5,110	5,049	5,321	5,517
	(1) 料 金 収 入	4,908	4,798	4,734	4,995	5,185
収	(2) そ の 他	317	312	315	325	331
	うち他会計負担金	165	165	165	165	165
入	2. 医業外収益	420	435	418	475	510
	(1) 他会計負担金・補助金	378	399	382	439	474
入	(2) 国（県）補助金	0	0	0	0	0
	(3) そ の 他	42	36	36	36	36
支	経常収益 (A)	5,645	5,545	5,467	5,796	6,027
	1. 医業費用 b	5,438	5,551	5,621	5,771	5,888
支	(1) 職員給与費 c	2,814	2,865	2,882	2,913	2,929
	(2) 材 料 費	1,149	1,141	1,127	1,174	1,216
出	(3) 経 費	797	874	938	988	1,036
	(4) 減価償却費	145	148	148	169	181
出	(5) そ の 他	533	523	526	527	526
	2. 医業外費用	275	151	56	49	41
出	(1) 支払利息	178	148	53	46	38
	(2) そ の 他	97	3	3	3	3
経	経常費用 (B)	5,713	5,702	5,677	5,821	5,929
	経常損益 (A)-(B) (C)	▲ 68	▲ 157	▲ 211	▲ 25	98
特	1. 特別利益 (D)	300	0	0	0	0
	2. 特別損失 (E)	1	1	1	1	1
別	特別損益 (D)-(E) (F)	299	▲ 1	▲ 1	▲ 1	▲ 1
	純 損 益 (C)+(F)	231	▲ 158	▲ 212	▲ 26	97
累	積 欠 損 金 (G)	8,003	8,161	8,373	8,399	8,301
	流 動 資 産 (ア)	1,103	916	675	582	596
不	流 動 負 債 (イ)	303	303	303	303	303
	うち一時借入金	0	0	0	0	0
良	翌年度繰越財源 (ウ)					
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)					
債	不良債務 (オ)	▲ 800	▲ 613	▲ 372	▲ 279	▲ 293
	差引 {(イ)-(エ)} - {(ア)-(ウ)}					
務	単年度資金不足額 (※)	▲ 221	187	241	93	▲ 14
	経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	98.8	97.2	96.3	99.6	101.7
不	良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	—	—	—	—	—
	医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	96.1	92.1	89.8	92.2	93.7
債	職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	53.9	56.1	57.1	54.8	53.1
	地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	508	372	286	51	▲ 293
務	地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	9.7	7.3	5.7	1.0	▲ 5.3
	地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の資金不足比	—	—	—	—	—
病	床 利 用 率	68.2	70.7	75.2	79.7	79.7

## 2. 収支見通し(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度				特例債償還 終了年度 (27年度)
		23年度	24年度	25年度	26年度	
収 入	1. 企 業 債	113	1,685	273	80	180
	2. 他 会 計 出 資 金	630	657	631	694	726
	3. 他 会 計 負 担 金					
	4. 他 会 計 借 入 金					
	5. 他 会 計 補 助 金					
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金					
	7. そ の 他					
	収 入 計 (a)	743	2,342	904	774	906
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)					
	前年度許可債で当年度借入分 (c)					
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	743	2,342	904	774	906	
支 出	1. 建 設 改 良 費	65	108	371	294	419
	2. 企 業 債 償 還 金	848	2,411	710	716	751
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金					
	4. そ の 他					
	支 出 計 (B)	913	2,519	1,081	1,010	1,170
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)		170	177	177	236	264
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	170	▲ 158	▲ 212	▲ 26	97
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額					
	3. 繰 越 工 事 資 金					
	4. そ の 他					
計 (D)	170	▲ 158	▲ 212	▲ 26	97	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)		0	335	389	262	167
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)						
実質財源不足額 (E)-(F)		0	335	389	262	167

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	23年度	24年度	25年度	26年度	特例債償還 終了年度 (27年度)
収 益 的 収 支	( 300,000 ) 843,000	( ) 563,813	( ) 546,995	( ) 604,419	( ) 639,411
資 本 的 収 支	( ) 630,000	( ) 657,000	( ) 630,763	( ) 693,635	( ) 725,557
合 計	( 300,000 ) 1,473,000	( ) 1,220,813	( ) 1,177,759	( ) 1,298,054	( ) 1,364,968